

# 一般社団法人 全国認知症介護指導者ネットワーク 設立からの経緯

## 【設立までの経緯】

- ◎各ブロックでの法人化に関する意見交換会 平成26年～27年の間  
北海道/東北/九州/近畿・中四国/中部/関東 にて計6回開催
- ◎代表者会議及び委員会の会議 平成25年～27年の間  
平成25年度 3回 平成26年度 4回

## 【設立と登記完了】

- ◎設立総会 平成27年7月4日(土) 13:40～ TKPガーデンセンター仙台  
アエル21階 ホールA1 にて
- ◎第1回理事会 平成27年8月26日(水) 認知症介護研究・研修東京センターにて  
・法人申請のための署名、捺印 ・事業計画について
- ◎登記簿登記完了 平成27年9月3日付けにて完了

## 【平成27年度の活動】

- ◎代表者会議(総務委員会) 9月27日 東京駅八重洲口にて 佐々木会長 宮島副会長  
・第2回、第3回理事会について ・厚労省、3センターへの挨拶について
- ◎3センター長への挨拶 10月19日 仙台楽楽楽ホール  
佐々木会長 宮島副会長
- ◎厚労省老健局総務課認知症施策推進室へ挨拶 11月13日  
佐々木会長 宮島副会長 薄井理事
- ◎第2回理事会 平成27年12月5日(土)大阪国際交流センター 3階 会議室  
・短期・中期計画について ・委員会の担当、業務内容について
- ◎新カリキュラムに関する緊急アンケート実施 12月14日～ 67都道府県・政令都市へ  
55都道府県・政令都市より回収(82%) 2月末に郵送にて情報提供
- ◎長野県認知症介護事業委託事業公募  
公募申込 平成28年3月4日 審査会 3月18日  
プレゼンテーション 3月22日 (決定4月1日)
- ◎第3回理事会 平成28年3月26日(土)貸会議室プラザ八重洲口 3階 4号室  
・各委員会の活動報告 ・緊急アンケートの報告  
・新年度の事業計画について

## 【平成28年度の活動】

- ◎代表者会議(総務委員会) 5月21日 東京駅八重洲口にて 総務三役 事務局  
・熊本地震の活動状況報告 ・厚労省との意見交換会について  
・3センターとの定期相談会について ・広報活動について  
・経費について
- ◎監事会 認知症介護研究・研修東京センター 第2会議室 6月19日 12:30～  
・平成27年度決算報告 ・平成28年度予算計画
- ◎平成28年度第1回理事会 同上 第2会議室 6月19日 13:15～  
・平成27年度事業報告、決算、監査報告 ・熊本地震への活動報告  
・平成28年度事業計画案、予算案
- ◎平成28年度定期総会 同上 第2会議室 6月19日 15:00～  
・平成27年度事業報告、決算、監査報告 ・熊本地震への活動報告  
・平成28年度事業計画案、予算案 ・提言
- ◎厚労省老健局総務課認知症施策推進室へ挨拶 11月28日 総務三役 事務局  
・全国ネットとしての提言と厚労省の考え
- ◎代表者会議(総務委員会) 11月28日 厚労省 1階にて 総務三役 事務局  
・12月10日大府の会議について ・全国ネットの講演会企画  
・収入確保について

# 熊本地震での活動報告

being19期 九州ブロック世話人 増田登賜隆さんの報告より抜粋 編集

## 【気晴らしサロンから、気晴らしカフェへ・・・】

◎平成28年4月23日(土)18時～22時 シティケア博多 being熊本県被災地支援会議

- ・ 佐藤副センター長より～物資支援は一旦終息。昨夜2時ごろ官邸から連絡あり。被災地の認知症の方、高齢者の方、家族の方が苦勞し、疲弊している。認知症指導者の力を借りたい。
- ・ 官邸からの提案:家族ごとにホテルに避難しないとけない人、自宅でまだしばらく踏ん張れそうな人、そうした人を見極め、必要なところにつなげてもらいたい。ホテルは800部屋程確保が出来ている。今10組ほど利用しているだけ。そこを活用できないか？

◎平成28年4月27日(水)14時～17時 熊本県社協 熊本地震災害多職種連携会議

- ・ 指導者に期待することは、認知症カフェ的な支援をしてもらい、避難所でケアをしてほしい。BPSD悪化防止につなげて欲しい。

◎平成28年5月10日(火)14時～16時半

みどりの館 避難所カフェについての話し合い

【名称】 気晴らしサロン

【スタッフ】 認知症介護指導者5名

10:00～上履き持参。到着したら1名玄関に挨拶。  
介護支援専門員2名11:00～ 現地のメイト及びサポーター

【期間】 5月18日(水)～7月27日(水)

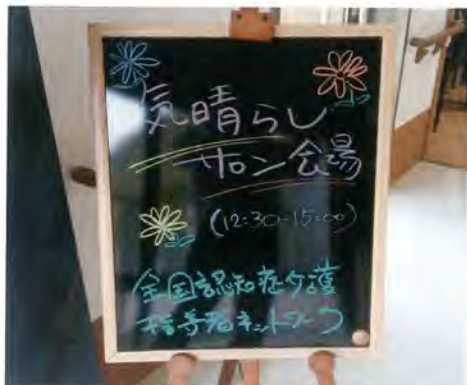
【頻度】 毎週水曜日(12:30～15:00)

【支援対象者数】 包括さんより現状では10名弱、利用される方は外履き・上履きどちらでもOK



## 【気晴らしサロン、スタート！】

## 【避難所では笑えないがサロンでは笑える】



◎気晴らしサロン記録より

- ・ 皆さん笑顔で帰られる。サポーターさんも楽しんで参加されていた。
- ・ 体操を行う時サロン参加者元気で歩いていった。他のスタッフのサポートで笑いが出ていた。避難所ではじっとしている事が多く笑いも少ないと聞いた。今回の企画で笑いが多く良かったと思う。歌う機会があり、昔の歌は皆さん好まれて歌われた。

日時	認知症介護指導者	その他
5月18日(火)	11名	13名
5月25日(水)	9名	10名
6月01日(水)	7名	14名
6月08日(水)	9名	10名
6月09日(木)	6名	7名
6月15日(水)	8名 ※6名南阿蘇へ支援	4名
6月16日(木)	7名	9名
6月22日(水)大雨	3名 ※8名支援中止	2名
6月29日(水)大雨にて中止	4名(後片づけ、挨拶のみ)	3名
7月毎週水曜日	熊本県指導者、継続支援	



平成28年6月22日(水)大雨の中



◎平成28年8月1日(月)11時 グループホーム夢路



◎平成28年8月1日(月)  
14時 みどりの館



### 【まとめ】

- ・ニーズはものすごいスピードで変化していく。
- ・支援とニーズ把握は同時進行が求められる。
- ・多くの人が日替わりで支援するため、支援者間の情報共有・コミュニケーションは極めて重要。
- ・避難所での非日常を鑑みると、花があつたり自由に話せたり普通に笑える居場所づくりは、被災された認知症の人等にとっては私たちが想像する以上に必要なことであることが分かった。

### 【おわりに】

- ・多くの方々のご支援をいただき、『気晴らしサロン』は『気晴らしカフェ』へと自立できました。本当にありがとうございました(#^.^#)
- ・これからも、いつでもどこでも、認知症介護指導者は、認知症の人の生活支援について、地域の方々と一緒に取り組んでいければと思います。

### ご報告

「熊本地震」に関して東京センターとともに、「全国認知症介護指導者ネットワーク」として募集させて頂きました「義援金」と「支援金」につきましては、東京センターでの決済終了後に「全国ネット」と合わせての最終決済を行う予定であります。詳細につきましてはいましばらくお待ち下さい。

## 熊本県から「感謝状」を頂きました

蒲島郁夫（かばしま いくお）熊本県知事より全国認知症介護指導者ネットワークの熊本地震支援に関する感謝状の贈呈がありました。今回の贈呈対象団体は193団体でした。

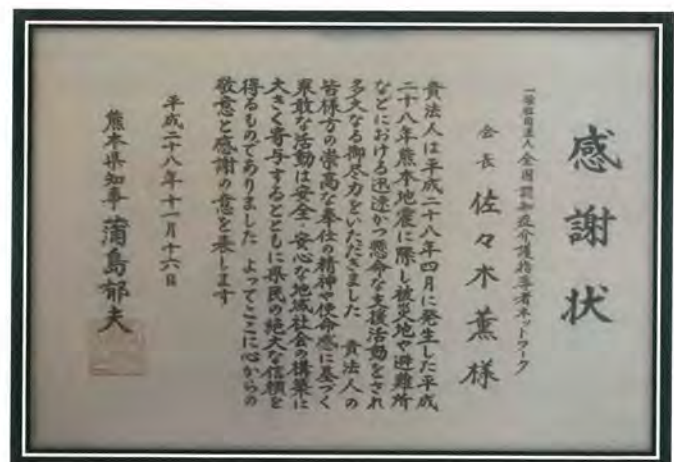
ホテル熊本テルサにおいて「平成28年、熊本地震に係る感謝状贈呈式」に白仁田理事が佐々木薫代表の代理として出席し感謝状を受け取りました。

この感謝状は、九州のみならず、すべての指導者の支援の賜物と思います。

改めて、全国の指導者の皆様のご協力に感謝申し上げます。ご報告させていただきます。

一般社団法人

全国認知症介護指導者ネットワーク理事  
白仁田敏史



## 厚生労働省老健局総務課認知症施策推進室との座談会にて



厚生労働省会議室にて

左より、森副会長、宮島副会長、佐々木会長、宮腰室長、平井室長補佐

平成28年11月28日(月)厚生労働省老健局総務課 認知症施策推進室の方との座談会の場を設けさせて頂きました。

短時間ではございましたが、「全国認知症介護指導者ネットワーク(略称全国:ネット)」としての提言、ご提案をさせて頂きました。

厚生労働省としてのご意見も伺うことができた貴重な時間だったように思います。これを機に、「全国ネット」としても各機会には懇談や講演の依頼等へと繋げられるようになればと思っております。詳細につきましては、後日各ネット機関紙にてご報告させて頂く予定です。

## 平成28年度長野県認知症介護実践者等養成研修委託事業実施概要

一般社団法人 全国認知症介護指導者ネットワーク

(12月7日現在)

期	会場	日程	実施状況
<b>(1) 認知症介護実践者研修</b>			
第1期	諏訪湖ハイツ(岡谷市)・みやま荘(松本市)	5月24日(火)~7月11日(月)	実施済み
第2期	飯島町文化館(飯島町)	6月23日(木)~8月12日(金)	実施済み
第3期	平安閣みまき(東御市)	8月4日(木)~9月20日(火)	実施済み
第4期	千曲市総合観光会館(千曲市)	8月18日(木)~10月3日(月)	実施済み
第5期	みやま荘(松本市)	10月19日(水)~12月2日(金)	実施済み
第6期	飯島町文化館(飯島町)	12月19日(月)~2月6日(月)	未
第7期	県社会福祉総合センター(長野市)	1月19日(木)~3月3日(金)	未
<b>(2) 認知症介護実践リーダー研修</b>			
—	諏訪湖ハイツ(岡谷市) 平安閣みまき(東御市) ホテル山王閣(上諏訪町)	5月24日(火)~10月24日(月)	実施済み
<b>(3) 認知症介護基礎研修</b>			
第1期	J A長野県ビル(長野市)	7月7日(木)	実施済み
第2期	平安閣みまき(東御市)	9月15日(木)	実施済み
第3期	浅間温泉文化センター(松本市)	11月15日(火)	実施済み
第4期	飯島町文化館(飯島町)	12月5日(月)	実施済み
<b>(4) 認知症対応型サービス事業開設者研修</b>			
第1期	諏訪湖ハイツ(岡谷市)・千曲市総合観光会館(千曲市)	5月24日(火)・7月28日(木)	実施済み
第2期	平安閣みまき(東御市)・みやま荘(松本市)	8月4日(木)・10月5日(水)	実施済み
第3期	飯島町文化館(飯島町)	12月19日(月)・1月26日(木)	未
<b>(5) 認知症対応型サービス事業管理者研修</b>			
第1期	千曲市総合観光会館(千曲市)	7月28日(木)・7月29日(金)	実施済み
第2期	みやま荘(松本市)	10月5日(水)・10月6日(木)	実施済み
第3期	飯島町文化館(飯島町)	1月26日(木)・1月27日(金)	未
<b>(6) 小規模多機能サービス等計画作成担当者研修</b>			
第1期	篠ノ井市民会館(長野市)	7月26日(火)・7月27日(水)	実施済み
第2期	飯島町文化館(飯島町)	12月15日(木)・12月16日(金)	未



# ち ネット 通信

2016.12月 第42号

## 厚生労働省老健局総務課 認知症政策推進室との 座談会にて 「全国ネット」としての 提言・提案をさせていただきました



平成 28 年 11 月 28 日（月曜日）、厚生労働省 老健局 総務課 認知症対策推進室の室長 宮越奏子様、室長補佐 平井智章様に時間を頂き、「全国ネット」や「指導者」に対する厚労省の考えを伺うと同時に、「全国ネット」としての提案や提言をさせていただきました。

1 時間ほどの間でしたが「忌憚なく意見を交わす」ということで、双方より意見が飛び交いつつも和やかな懇談となりました。こちらからは、今後の「指導者」の活動に対する願いをし、厚労省からは、「実践現場での活躍の実例の紹介をどんどん欲しい」といったご意見を頂き、大変貴重な時間になりました。詳細はHPや総会にてご紹介させて頂ければと思います。

右写真 ⇒

向かって左側より宮島副会長、宮越室長、佐々木会長、平井室長補佐、森副会長



## 熊本地震の支援活動に対し、熊本県より“感謝状”を頂きました 『援助金』『義援金』についてのご報告は今しばらくお待ちください

平成 28 年 11 月 16 日（水曜日）に熊本県より、全国認知症介護指導者ネットワークへ「熊本地震」の支援活動の功績に対して「感謝状」を頂きました。贈呈式には会長・副会長の都合がつかず、長崎県の白仁田理事にご出席頂きました。

また、この際に募集させて頂きました「義援金」と「支援金」につきましては、東京ネットワークでの決済終了後に「全国ネット」と合わせたものをご報告させて頂く予定です。

## 平成 29 年度の「全国ネット」の計画を作成しております

平成 30 年は介護保険と医療保険のダブル改定とともに、両施策の改定が加わる今までになかった大きな変化が予測される年となります。

そこで「全国ネット」としても来たるべき状況に備え、「全国ネット」の組織強化と存在意義の拡大に向けて、平成 29 年度の活動を益々活発化させるための検討をしております。

現状を踏まえて、現在決定している内容をお伝えします。

- 4 月 役員改選
- 6 月 平成 29 年度定期総会
- 3 ネット別 各 1 会場にて
  - ・全国ネットとして講演会開催の企画  
4 月(福岡)being 7 月( )仙台  
10 月( )大府
  - ・厚労省の講演会依頼 全国ネット事務局
  - ・内容 研修委員会 ・広報 広報委員会
  - ・会場確保、会員や一般の方の動員PR 各地区担当者



## 【認知症介護指導者になって…】

私は平成26年度第37期に認知症介護指導者養成研修を修了し、昨年度から福島県の認知症指導者として活動させていただいています。

認知症介護指導者になって一番最初に感じたことは自分の知識の無さについてです。

特に<人に伝える力><理論>については全くの力不足だと感じました。認知症介護実践研修を受講生の立場で経験し、講師の方々への憧れと、こういう風になりたいという思いはありましたが、いざ自分がその立場になった時、「自分は認知症介護指導者として相応しいのか？大丈夫なのか？」という変な不安感でいっぱいになることがありました。そういう私に福島県の先輩指導者が認知症介護指導者養成研修修了後すぐに体験という形で認知症介護実践者研修に参加させて下さったり、忘年会によんで下さったり様々な配慮をしていただき環境を整えていただいたことで様々な不安がなくなったのと、ある先輩指導者に「〇〇〇についてどう思う？」と聞かれ、「いやまだ私は指導者になったばかりです」と返答した時、「いや、もう指導者なんだからそういうの関係ないからね」という言葉をいただいた時、「やるしかない」という覚悟が決まりました。

それと同時に現場で新人職員を育成する際、「入居者様にとって新人職員も先輩職員も関係ないんだよ。一人の職員として見られるのだよ」と言っている自分を思い出しました。

現在は先輩指導者の方々にフォローしていただきながら人生の中で一番勉強させていただいているような気がします。今後は認知症介護指導者としての役割を更に深く理解し、研修の受講生の方々や福祉に携わる方々と共に考え、共に学んでいけるよう謙虚な気持ちと感謝の気持ちを忘れずに、私の生涯の目標である「子どもが選ぶ将来になりたい仕事」に「福祉の仕事」があがるよう、そして一位になれるよう、学ぶ姿勢を大切にしながら日々精進していきたいと思えます。



次回は、広島県 37 期 滝本雄司さんです。  
お楽しみに♡

## 平成 28 年度ちネット世話人会のご案内

日時：平成 29 年 3 月 1 日（水）13 時 30 分～16 時

場所：仙台駅付近（1 月中旬ころに案内文書を発送いたします）

今年度は全体研修会を東京で行ったため、年度末の世話人会は仙台で行うこととなりました。年度末のお忙しい時期ですが、ご協力お願いいたします。

事務局より

# 広報部会より

認知症介護実践研修等の新カリキュラムについて、各道県市の世話人へアンケート調査をしました。今後情報共有するためにも、各道県市の今の動きをお届けいたします。年末のお忙しい中、ご協力いただいた世話人の方々へ紙面をお借りして感謝申し上げます。  
年度末の世話人会時には、アンケート結果をふまえ、来年度の事業計画に盛り込んでいきたいと思っております。

## ちネット 新カリキュラムについてのアンケート結果(回答:16/20道県市)

質 問			回 答 結 果	詳 細	
回	答	結 果			
Q1 : 今年度新カリキュラムについて何か取り組んでいることはありますか？				<ul style="list-style-type: none"> <li>・新カリキュラム委員会を設置して検討している(同意見6件)うち、検討委員に行政も参加している(1件)</li> <li>↓*は委員会で検討</li> <li>*各科目の講義担当(講師)の振り分け</li> <li>*講義計画書及び講義資料の作成</li> <li>*研修開催時期、場所の調整</li> <li>*開催団体全部が統一した内容、同じ条件で行う方向へ向けて進めている</li> <li>*次年度からの研修実施に向けてスケジュールを立てて進めている</li> <li>・センターから矢吹先生を講師に平成28年度のフォローアップ研修報告会を開催</li> <li>・参考文献を頼りに自分なりに解釈をして取り組んでいる</li> <li>・前年度から勉強会を行い、シラバスに基づき講義計画書を立てた</li> <li>・新カリキュラムで研修を実施している(基礎研修2件・実践者研修6件・リーダー研修6件)</li> </ul>	
はい	いいえ	今年度未定	16	0	0
Q2 : 新カリキュラムのスライド作成に取り組んでいますか？				<ul style="list-style-type: none"> <li>・科目ごとに分担して講義資料、Pptを作成(科目の受け持ち毎に・地域で分けて・グループを作って)</li> <li>・実際の講義担当者が一部修正して作成(同意見2)</li> <li>・シラバスやフォローアップ研修の成果物を利用し作成してきたが、テキストができてからは修正しながら作成</li> <li>・実際に講義を終えた指導者と情報交換しながら作成</li> <li>・取り組んでいるがまだ途中の段階</li> </ul>	
はい	いいえ		11	5	
Q3 : 作ってみた方は、どんな気づきがありましたか？				<ul style="list-style-type: none"> <li>・各科目との重複内容が多く調整が必要(同意見4)</li> <li>・内容のボリュームが多く演習時間の確保が大変・時間内に収まらない不安(同意見4)</li> <li>・現場職員が理解しやすいように意識して作成した</li> <li>・これまで使っていたテキストと大きな変更はなかった</li> <li>・全国の資料と統一できているか不安</li> </ul>	
Q4 : 他の道県市の取り組みについてどんなことが知りたいですか？ (例 PP 講義計画書 その他)				<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部実習の有無</li> <li>・受講生へのテキスト購入の義務付けは行っているのか？ テキストの活用方法をどうしているか？</li> <li>・講義計画書やPptの内容(参考・引用文献等も)</li> <li>・演習、および評価の方法(同意見11)</li> <li>・実践者研修、リーダー研修の開催数と受講生の定員数</li> <li>・すでに新カリキュラムに取り組んだ所の現状(準備～実際)と、課題を具体的に聞きたい(同意見3)</li> <li>・事業計画書、開催要項等の申請書類について参考にしたい</li> </ul>	
Q5 : 全国の状況も参考にできたらいいと思いますか？ (その方法も教えてください)				<ul style="list-style-type: none"> <li>・道県市で統一した資料を全講義で使用しているのか参考にしたい</li> <li>・テキストの活用方法について参考にしたい(同意見2)</li> <li>・開催時期と開催回数、受講定員数、講師の分担など参考にしたい</li> <li>・全国の状況を知って基本的な流れを統一した方が良い(講義、演習内容の共有)</li> <li>・シラバスのどの部分を重要視しているか共有したい</li> <li>・新カリキュラム研修の状況を知りたい。状況報告会を開催してほしい</li> </ul>	
はい	いいえ		16	0	



Q6 : みんなで共有できるような仕組みがあればよいと思いますか？			<ul style="list-style-type: none"> <li>・科目ごとに講義計画書、Pptの閲覧がパソコン等で共有できる仕組み（同意見 10）</li> <li>・共有しすぎると全く同じ内容になり講師の力量で相違が出る心配もある。シラバス、重要項目程度の共有化を。</li> <li>・平成 28 年度のフォローアップ研修で、新カリ研修の発表をして内容を共有したい</li> <li>・来年度の開始前に、指導方法の手引きなどの集合研修をしてほしい</li> <li>・担当する科目が共通する講師間の情報交換の機会が欲しい</li> </ul>
はい	いいえ		
15	1		
Q7 : 次年度研修に向けての取り組みについての課題はありますか？			<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講生の定員を定めるべきか(研修の質を保つため)</li> <li>・科目ごとに統一した資料を作成して講義を進めた方が良いか</li> <li>・評価方法及び判定基準の設定、補講等の必要性の要検討(同意見3)</li> <li>・報告会の方法についてどうするか</li> <li>・他施設実習がない状態で、自施設実習の課題設定をどう進めるべきか(同意見3)</li> <li>・作成した資料の確認とすり合わせ、前後の研修科目の繋がりの確認と共有(同意見3)</li> <li>・研修開催後に課題が明確に見える部分も多いと思う。その都度、検証を行う必要がある</li> <li>・行政担当者との連携</li> </ul>
はい	いいえ	未回答	
14	0	2	
(その他・質問)	*各県・市で指導者に求める最低限の活動の範疇は、「認知症介護実践者研修・認知症介護実践リーダー研修・基礎研修」までで良いと判断して良いのでしょうか？もしくは、認知症対応型サービス事業管理者等研修なども入るのでしょうか？		

## 全国研修報告&お知らせ

12月10、11日に大府ネットワーク主催の全体研修が京都で開催されました。研修2日目に開催した新カリキュラムの実践報告（栃木県・鳥取県・京都府）の資料を「全国認知症介護指導者ネットワークHP」に掲載しております。（鳥取県の報告者は林原豊さんです）

下記アドレスにてログインしていただき、ぜひご覧ください。

大府ネット事務局によると、発表者の一人、栃木県指導者の染谷氏は、研修会翌日に行った栃木県指導者の打ち合わせの場で、鳥取県の「振り返りシート」等について報告されたそうです。そして、来年度から栃木県は、今使っている「振り返りシート」を鳥取県バージョンに変更して使うとのことでした。

その他にも、他都道府県市の情報を栃木県指導者の皆さんに報告して下さったそうです。

センターの範囲を超えた情報交換ができた瞬間ではないでしょうか。今後も各ネットワーク主催の研修会をご案内いたしますので、ふるってご参加ください！

全国認知症介護指導者ネットワークHP：<http://zenkoku-ninchishou.net/>

**会員ログイン ユーザー名:kaiin パスワード:5tgb6yhn**

### 編集後記

25年ぶりの広島東洋カープの優勝に、広島の街は湧きかえり、今年の広島は大いに盛り上がりました。

我が家も例外ではなく、年間20試合は観戦し、黒田投手の200勝も見届け、クライマックスシリーズも応援し、素晴らしいシーズンとなりました！惜しくも日本シリーズでは、ちネット仲間の北海道ファイターズに敗れましたが、広島と北海道の戦いは嬉しかったです。

個人的には、今年は人生で最も辛い一年でした。

心の傷は癒えることはないですか、その際に周囲の皆さんの優しい励ましのお気持ちを沢山頂き感動しました。人生全てのことに意味があり、辛い出来事ではありましたが、皆さんの温かさを感じることができたのはありがたいことでした。来年はそのお礼ができる一年に行きたいと思っています。皆様も素晴らしい年になりますように…（広報部会副会長 牛尾容子）

